いわき民報
發行所 平市田町48 電381・176 いわき民報社 編集兼印刷發行人 田原登

リーダーズダイジェスト 11月號
ササキホンヤ 角忠書店 平2TEL285

平事件主謀の一人 初田一夫逮捕さる
内郷の自宅に舞戻った處を

内郷町自治署では二十二日午前八時半ころ同署に於て平事件容疑者内郷町綴字町内一六磐炭鑛勞組書記長初田一夫(二七)を逮捕、身柄を一應平自治署に押送訊問調査を開始した

初田は指名手配されておった平事件の主謀者の一人で大物級とみられ日共内郷細胞の執行委員を兼任、活躍していたもので逮捕三日前自宅に現れ、捜査官の目をのがれていた、平自治署では今後の取調べの進展に伴い逃避中の場所も明らかとなり、目下指名手配中鈴木磐夫ら十三名の潜伏場所も明らかになるものと一時停頓状態だった平事件の調査も今後共活溌化されるものと見られる

初田は平商校卒業後滿洲に渡り官吏消費組合に務め終戰歸郷、磐炭鑛に勤めたものである

廿壹萬圓を超過
平市の共募金

平市の共同募金はいよいよ最後の段階に入り余す處甫町、北白銀等七町内の戸別募金だけとなった、二十二日現在の募金額は目標五十一万七千円に對して二十二万を超過し總額七十三万九百四十一円三錢に達した

市社會課に届出た二十日以後の町内戸別募金額左の通り(カッコ内目標額)

△二十日、紺屋町一万七百円(八千八百七十六円)△二十一日、立町一万千五百六十五円五十錢(一万百二十三円)、八幡小路八千三百四十円(八千百二十一円)△二十二日、新川町一万七千三十円(一万四千四百二十三円)

十名の町村優良吏員
あす體育大會席上で表彰

石城町村長會では二十三日湯本小學校で開く町村吏員体育大會の席上で管内の優良吏員として左の十氏を表彰する

志尾崎忠徳(湯本書記)山口巖(鹿島助役)鈴木キミ子(大浦書記補)桶井清水(澤渡三坂書記)直田目眞喜(江名書記)加茂勲(勿來書記)大和田喜宗(夏井收入役)小野佐一(川部書記)高萩喜一(赤井書記)遠藤定雄(小名濱主事)

宮下七段へ
來月呉清源と對局

去る十九、二十日の兩日行われた日本棋院秋季大手合せで郷土出身宮下六段は第一回戰前田七段に不戰勝、第二回戰は既報の如く木谷八段を十目で破り第三回戰に臨んだが岩田四段を中押勝で破った旨同氏後援會宛二十一日電報で通知があった

これで同氏の七段昇格は決定的、來月九、十の兩日伊豆修善寺で呉清源氏に一戰を交えることになるがこの好調子では或いは大番狂せが起きるのではないかと好

瀧川理事出席
レクリ大會に

第三回全國レクリ大會縣代表打合會並に縣レクリ協會結成準備會は二十三日岩代熱海町金閣荘で行うが平レクリ協會より瀧川保夫理事が參加するなおスクエアダンスコンクールの練習會も行われる

出演百數十名
のど自慢、空前の盛況豫想

二十三日『のど自慢大會』の出演申込は炭礦人一般人計百數十名に上り空前の賑わいを呈している、この合格者中優秀者炭礦人三名一般人三名は郡山NHKより放送をする事になっているのでそれだけに申込者は意氣込んでいる

平市出身コロムビア社專屬磐城康郎氏の披露公演とあるので地元レコードファンの歡迎は格別で當日の混雜が想像される

北村アナ來平

郡山放送局技術陣録音班一行は二十二日十時十八分平着列車で來平、北村アナは仙台放送局で打合を終えて二十二日夜來平する

たいら小唄
來月四日放送

來月四日『郷土の夕』にはたいら小唄を放送するので平料理店、藝妓屋組合及紅陽會連中は千載一遇のチャンスとばかり練習に余念がないが『文化都市平』の名を電波に乘せて平事件の汚名をそそごうと紅い氣焔をあげている、炭礦人のど自慢合格者の放送も同時に行われる、一般人の放送日時は未定

明るい希望で生き抜こう
濱通りの未亡人の集い

縣及び平市主催の濱通り未亡人の集いは二十二日午前九時から石城地方事務所會議室に平、石城、双葉、相馬の未亡人及民生委員等百名が集って開き主催者側及び三浦縣兒童婦人課長の挨拶があって後、未亡人の更生方向として未亡人が未亡人という觀念を捨てて一般家庭人であることを認識し明るい希望で進もうという伊福部敬子女史の講演があって午後は慰安激勵の懇談を行った

社會黨大會
あす開く

事者期待の的となっている

社會黨常磐地方協議會第一回定期大會は二十三日午前十時半から平市勞働會館に開き、規約改正、役員選出運動方針、特別議案十二項目等を協議する

あす新米入荷

早場米の需給計畫に基いて米の産地會津から二十三日新米が小名濱に三百五十俵、平市に五百俵、四倉二百俵が入荷する

教組レクリ
盛會に終る

平教組体育部では市内敎員レクリエーションを二十二日午ぜん九時より磐女高校グランドに開いた、各校職員が參加種目は庭球、籠球、卓球、陸上(四百リレー)排球、女敎員のみ)で天氣も回復したため盛會に終った

内郷の圖書館完成
來月に開館の豫定

内郷町では豫算六十万円で去る七月から全町役下に圖書館の設立をいそいでいたが、この程完成の運びとなり常備圖書も町民の寄附で三千册を超えたので來月十九日開館を豫定している

この圖書館は元役場の會議室を改造したもので平屋建木造三十七坪に書庫と閲覧室が分れている

果實園の復興計畫
二百五十町歩に擴張

平地區農業改良委員會では十九日午前十時より市役所で同農業改良指導所の運營について關係町村側からも特に出席して協議したが、平市としては石城地方現在の果實園六十町歩を普通りの二百五十町歩に五カ年計畫で復興させたいと發言、來春改めて具体化に乘出すことにした

この果實園復興五カ年計畫の試案によれば石城地方の名産長十郎梨、石城身不知柿、岡山白桃系の桃を大いに擴張し梨は平好ま、赤井下小川、大野、柿は大野、上小川、桃は平、大野を中心として郡部全般にそれぞれ戰前同様まで復興させようというにある

災害査定認可

農林省農地事務局では二十日二十一日の兩日に亘り平開拓事務所管内のキッテイ颱風による平、錦、勿來等十一カ町村の災害査定を行い全部認可した

配給もの
幼兒用ゴム靴

平市經濟課では第三四半期分一般幼兒用總ゴム豆靴百三十四足を三十一日抽籤の上で配給する、希望者の受付けは二十四日より二十七日まで飯米通帳によって行う

三万圓が行方不明
トラになった土工青くなる

湯本町大字水ノ谷龍ヵ原土工飯湯の半澤六郎さん(二四)二十日の夜土工さんの賃金三万円を受取って手提カバンに入れ歸りかけまでは良かったがつい好きな道へ入り込んで飲みも飲んだり焼ちゅう入合終にトラに變して手提カバンを持ったまま湯本の街をぶらりぶらり、何時の間にやら路傍に寢てしまい氣が付いた時は手提カバンはドロンをきめて行方不明、あわてて湯本町署に搜索方御願いにまかり出たが此のカバン落したものやら盜まれたものやら

不在中に借家を占領
横暴家主と問題化

二十一日午後三時頃平市紺屋町一七無職吉田いく(六〇)さん方へ家主神谷村上神谷佐藤三郎(二二)さんの兄佐藤政巳(三三)さんが來ていくさんが不在なため姪の舊城跡二一小谷松繁子(四三)さんの處に行き裁判所の命令だから家を明渡して呉れ、と繁子さんを立合わせて勝手にいくさんの家財道具を小谷松さんの方に運び内から施錠して仕舞った、所用から歸って來た吉田いくさんはびっくり借家組合の三森虎雄氏の處へ泣き込んだので同氏が二十日裁判所に行って事情を聽取した處命令しないことが判り店子のいくさんを問題の家に入れて來たがあまりにも横暴な家主であると憤慨問題にすると語っていた

卓球選手權
あす大會

磐城卓球連盟主催本年度第四回石城地區選手權大會は十三日午前九時から第四小學校講堂で開催組合せは次の通り

『男子一般』

A 平チームー常磐C　B 湯田川ー市役所
C 湯本高ー常磐B　D 小名濱ー植田チーム
E 磐高Aー四倉高　F 常磐Dー配電
G 常磐Bー平工　H 古河ー磐高
I Hの勝者ー常磐A

『女子一般』

J 磐女高ー小名女高　K 湯本女高ー常磐B
L 平チームー四倉高　M Lの勝者ー常磐A

騎乘練習會

いわき乘馬クラブ第一回練習會は二十三日(日)に午前中のみと變更

鯉釣りの會
あす丹後澤で

今年はさっぱり釣れなくて釣人に不満だった平市舊城跡丹後澤にとう尾の花を飾ろうと市内白銀町花友の八田興一さんは二十二日午後數千匹の鯉を全池に放魚二十三日早朝から鯉釣りの會を開く

赤痢續發の兆
大日本炭鑛

平保健所では二十一日勿來町出倉大日本炭礦寮に赤痢續發の傾向があるとの急報に渡邊係官は現地に急行、その狀態と原因を究明中であるが目下詳しいことは判らない

日本刀所持で檢擧さる

大浦村大字長友字四反田農學佐藤義男(一八)は二十二日平地區署に銃砲等所時禁止令違反で逮捕された宇佐美は約半カ月前に同村大字白岩綱大工四家正男(一九)から黑サヤ一尺二、三寸の小刀を買受けたもので余罪はない模様

素人演劇豫選
廿四日連絡會

縣敎委毎日新聞主催の素人演劇コンクール大會濱通り地區豫選會は三十日午ぜん九時より平市第三小學校で開くが連絡會を二十四日午後一時より縣敎委石城出張所で開く、なお二十二日までに申込んだ劇團は次の通り

【學生】磐高、磐女、磐農、双高、【青年團】内郷演劇集團【自立團】常磐炭鑛磐崎支部

馬目安一氏

(元平製氷株式會社技師長兼小名濱營業所長)十二日午前七時半腦溢血で勤務先の日本冷藏千葉工場の自宅で急逝した、氏は平市出身で永らく平製氷の小名濱工場長を勤めていた享年五十、葬儀は二十五日午後一時平市菩提院

天氣予報

廿二日【今晩、明日】北西の風、晴たり曇ったりの天氣、海上沖合は多少波立つが沿岸は穏か

巡廻文庫貸本御開業の好機
讀みごたえのある小說、隨筆、漫畫が千圓で結構三十册は揃う店
定價の半額以下の
特價本賣店
市営グラウンド前(縣社寮)

たいら小唄 たいら音頭 發表記念
炭礦人 一般人 のど自慢大會
東北六縣中繼
プログラム
第一部 のど自慢大會(中繼放送) 司會JOCP北村アナウンサー
第二部 たいら小唄
歌 磐城康郎 コロムビア專屬平市出身
春日藤竹 舞踊 紅陽會連中 伴奏 常磐炭礦輕音樂團
一、たいら音頭 唄 春日藤竹
一、小唄 春日藤竹 おハヤシ子舞踊 紅陽會連中
一、樂團演奏
一、歌の花束 磐城康郎
第三部 のど自慢大會(夜の部は決勝)
◇日時 十月二十三日(日) ヒル十一時 ヨル六時
◇會場 平市第一小學校新築講堂
◇のど自慢申込(一般人) 福島民報平支社(平市新田町)
前賣四〇圓 當日五〇圓
主催 福島民報社 平放送分局
後援 平市 平石炭局 平料理店、藝妓屋組合

◎幹部候補生募集◎
△中學卒業又は同等の學力を有する者
△女子月掛事務係並びに集金人募集
△希望者は履歴書郵送又は持參面接の事
平市南町四六
協榮生命保險株式會社

御願い
運動靴 ゴム長靴 地下タビ の豫約は
永年專門に取扱いして居る大塚へ
一流メーカ品を取次ぎ致します
平市田町三田小路
大塚靴と運動具店
電話七十七番

父馬目安一儀(元平製氷株式會社技師長兼小名濱營業所長)去る十二日勤務地千葉市に於て急病死致し遺骨を十四日平市菩提院に安置致しました生前の御交誼を深謝致し乍略儀紙上を以て御知らせ申上げます

就きましては十月二十五日午後一時より二時まで平市古鍛冶町菩提院に於て告別式相營みます

昭和二十四年十月二十一日
小名濱町船引場三四
喪主 馬目一
親戚總代 馬目智夫 山野邊鶴次郎
友人總代 永野政次郎 山野邊湯

生活文化

知能検査を實施して

平一中 田仲重三

本校に於て今回全生徒一二〇〇名に對してB式知能検査を實施し、重ねて三年生四〇〇名に對してA式知能検査を實施した。その結果が大体まとまつたのでその考察を先づA式について述べて見たいと思います。

一、知能検査の目的

知能検査は、頭腦のはたらきと見られる知能や素質的な性能を評價しようとするものである

われ〳〵は、この検査をすることによつて少しでも生徒達を客觀的に眺める基礎を見い出し、主觀的な觀察と相俟つて新教育のねらいである個性と即した、教育の實績の向上を希求した爲であります

二、知能検査の種類

種類はたくさんありますが最もよく研究され、世けんに實施されているものはA式とB式であります。

A式は國語力を必要とする問題で構成されていて先天的知能に合せて後天的な一般的知能の検査に適します

B式は國語力を必要としない、圖形、數、記號等によつて問題が構成されていて先天的一般知能の検査に適します

A式B式共團体的に又は個人的に行うものがあります

本校に於ては何れも團体ての方を採用しました。

三、検査上の注意

實施する目てきを明らかにし検査法に指示されている實施方法に忠實に從うこと

検さ方法に熟達してから實施すること等は大切なことであるがこれにもまして、受驗者の主觀てき、客かんてき條件の調整には最も留意しなければならない

即ち、心身の狀態、用具の準備試驗の環境等の整備には充分努力して、生徒が全力を發揮で來るように調整してやらねばならない

四、結果の判定

敏速正確に採てんするは勿論であるが、結果の判定には愼重を期さねばならない

そのためには採てん法に心通し計算をま違えないようにする又採てんに當つては偏見を持たぬよう又なる精く精確な記錄をとるよう心掛けねばなりません

五、結果の處理指導

技師が生徒を觀察する基礎資料とするは勿論、父兄と連絡の上事情家庭連繫の上生徒の向上發展を期して指導に當らねばならない。全校初高統計も必要ながら根本は個人としての生徒を識り教育上に活用するのが主目的であるからその點誤解のないように、何是非心したいことは、こゝに検査された知能は生徒の全知全能ではなくてほんの一部分に過ぎないので、この結果のみにて生徒を決定的に判斷しないことは勿論、生徒自身にも、父兄にも今後の努力如何でのびることを確認して向努力するよう指導すべきである

又現在の學業成績と、知能との關れんを求めて現存に於ける努力の程度等も反省せしめることも大切である

要は、個人的に知能のよいものは益々努力し低いものは緊褌一番、心機一轉努力をするように指導すべきである

六、A式に於ける本校三年生の實態

組名	検査人數	最上知	上知	平均知上	平均知	平均知下	下知	最知下	備考
1	五五	一	一二	一八	一九	四	一	〇	缺席三
2	五六	一	一八	一五	一三	八	一	〇	同二
3	五七	一	一九	一九	一三	四	一	〇	同二
4	五五	〇	一六	一四	二一	四	〇	〇	同四
5	五五	二	一三	一六	一五	五	二	二	同三
6	五七	四	一〇	二一	一六	五	一	〇	同二
7	五九	二	一〇	二四	一七	五	一	〇	同〇
計	三九四	一一	九八	一二七	一二四	三五	七	二	同一六
本校百分率		二、八	二四、九	三二、二	二八、九	八、九	二、三	〇、五	一〇〇、五
全國平均百分率		二、八	五、四	一六、六	三四、五	三〇、〇	三、九	三、三	九六、五
知能指數區分		一五〇以上	一四九-一三一	一三〇-一一一	一一〇-九一	九〇-七一	七〇-五一	五〇以下	

七、今後の計畫

以上の検査のみでは未だ不充分でありますので今後は性向検査、職業検査等を實施して義務教育完成迄には生徒自身でも或る程度科學的、客觀的に自己の力を認識して將來の進學、選職の場合の一參考とするよう指導し教師、父兄側に於ては一層生徒を理解して生徒指導の爲の一資料として活用し生徒各自が將來有望な文化國家人として生長發展するよう希求する次第です、當B式の全校の結果は後日まとめて見たいと考えています

やがては空家に 元配炭公團の建物

配炭公團廢止後、市内堂根町にある常磐支團の建物（建坪三百九十一坪）は官廳や事務所に適當なものだと建物難の折柄各方面から見込まれているが現在、業務清算整理のため十二月一杯まではかゝる見込みでありこの建物の處分方法も清算人と大藏省と交渉中でこゝしばらくは整理事務に携わる八十六名の人達の居城となつている

縣に陳情 野菜の指定地に除外された町村

縣では昨報の如く蔬菜指定特産地區生産計畫打合會で石城郡下二十五年度の特産地を百四十五町歩と決めたがこれは二十四年度と較べると九十五町歩の減で勿來、錦、飯野好間、草野、高久は何れも除外されている、このまゝ二町四カ村が指定特産地として肥料の取扱を受けないとすると肥料や衣類などの特配がなくなるので石城地方事務所では特産地としての共同出荷態勢が出來ているかどうか調査した上で近く縣へ陳情することになつた

業務の監査

縣勞働基準局古宮監督課長、同飯岡監督官は二十四、五、六の三日間に亘り平勞基署の業務監査を行う

勞組の野球 三十日開催

日鑛常連傘下組合第二回野球大會は三十日午前九時から市營球場に行う、參加チーム十三チームで二十一日キャプテン會議となつている

貯蓄既に百万圓 子供金融機關の現況

石城郡下の子供銀行は地方事務所の調査によると銀行四、郵便局十三、協同組合六、信用組合一、計二十四となつて居り何れも本年四月以後の創設で、大人に負けまいとする子供達の蓄貯熱の旺盛さを如實に物語つて居り加入生徒も組織された學校の全生徒で一万四千二百六十九人を數え、貯蓄額は百万円に達している

このことを知つた未設の各學校でも遅れじとばかり創設を急いでいるので今年中には郡下學校の過半數が子供銀行を持つだろうと見られている

農地委協議會

四倉方部農地委員會協議會は二十二日午前九時から大野村役場會議室で開き登記實務について協議した

新聞編集印刷室 内郷高校で完成

内郷町高等學校では今夏以來の宿望であつた新聞編集印刷室がこの程完成したので自慢の手動印刷機や活字などを大いに利用して社會科の勉強に活潑な動きを示している

印刷所のない全町では役場を初め驛や一般商店からも大いに親しまれ生徒達は自分の手で植字から印刷まで出來ることに益々工夫をこらしているが、これを見た文藝クラブの生徒十三名が全クラブを開散して全員この讀書新聞クラブに加入した等のエピソードを生んでいる

身体障害者更生指導所 入所の手續

平市社會課では去る一日發足した神奈川縣相模原の國立身体障害者更生指導所に入所して更生指導と職業補導を受けたいと希む者の入所手續きを三十一日まで受付けることになつた

資格は十八才以上の比較的重度の身体障害者で原則として義務教育の修了者に限られ、精神薄弱者、盲、症狀が判らないで外科の治療を受けているもの、胸部疾患、傳染病などの者は入所出來ないことになつている

入所者は洋裁、時計、靴、義し科學の補導科目が自由に選擇出來る

健康教育研究會無期延期

縣教育委員會主催で二十九日平二小に開かれることになつていた健康教育研究會は都合により無期延期となつた

線路を横斷する横着者 嚴重に取締

此頃平驛宮内の構内に無斷で線路横斷するものが多くなつて來ており日に二十件平均もあるので平鐵道公安所では鐵道營業法違反で嚴重取締ることになつたが、安全輸送から非常に危險なので一般の注意を喚起している

猩紅熱

草野村泉崎吉田ヒデ子さん（一六）は十六日發病十九日猩紅熱と決定した

のど自慢を總見 公休を繰上げ

平料理店組合及平藝妓屋組合では二十五日の公休を二十三日に繰上げ平一小講堂で行われる「たいら小唄」發表記念のど自慢大會に出演者に總見を行う

料理講習會 卅日湯本で

平友の會では三十日午前九時より二時まで湯本高等學校に於て季節料理の講習會を開く

五十円の會費を持寄り友の會員をかこんで研究しながらお料理を作り向上しようというわけ、特に季節の料理方法であるために盛會が豫想されている

乳房で窒息死

内郷町大字宮字瀧土工齋藤貢さん妻サタミさん（四四）は十九日夜七女の榮子ちやん（一つ）と添寢中誤つて乳房で窒息死亡させた

映畫 二十四日より

透明人間現わる 世界館

「凡ゆる物体を透明にする藥は出來るか出來ないか」中里研究所の瀬木（夏川）と黒川（小柴）は所長の娘眞知子（喜多川）をかけて研究する、賞は所長（月形）が成功しているが還元劑の發明が出來ないので發表を控えている、出資者河邊は寶石ブローカーで中里と黒川を誘拐し寶石を盗わせる—透明人間をあやつて戀と犯罪が展開する安達伸生監督大映京都作品

捕物實話 怪盜小松三治（四）

喜久地寒

一月末の空っ風の吹く夜であつた。今夜こそはと意氣込んだ、三十余名の私服警官隊は上り終列車で湯本町に乘り込んで、怪盜に狙われそうな家を見當つけて、一人一軒づつ受持つて張込むことになつた。

午前三時を過ぎる頃になると賑かな金棒や拍子木の音もハタとやんで空っ風が電線をうならせていた。

備中屋旅館を受持つた笠田刑事は旅館角の電柱の蔭にかくれて警戒していた

毎夜のことに何時しか睡氣を催して來ていたが＝＝ガタガタン＝＝という屋根看板をゆす振突風に驚いて、兩眼をパッチリ開いゝ南の町角をすかして見た時であつた。東側の細路地から黒い人影らしいものが、大通りに出て張込點に近づいてくる。

笠田刑事は、硬直するような緊張をおぼえた。

〃今度こそ俺の手で怪盜を〃心は躍つた。

刑事の張込んでいる電柱の四五間先で怪しい人影は立ち止つた。

＝野郎發見したかな＝逃げ出したら飛出さうと身構えしていると怪しの人影は

「旦那—旦那」

と呼び始めた。

「何だ—」

笠田刑事が、電柱の蔭から躍り出したことは勿論であつた

「旦那ですか—たつた今私の處に泥棒が入りました。直ぐ來てください。まだその邊に居るかも知りません」

「何に？又やられた。—何處だ」

「この直ぐ裏です」

「ウム、そうか」

二人は驅け出した。

大通りから來た路地を入つて表戸が一枚外されてある一軒の家の前に立つたその男は

「おたね—旦那が來てくれたよ」

と家族に刑事の來たことを知らせた。

笠田刑事は、外されてある表入口から入つて行つた。

「この戸を外したんだね—被害は？」

その瞬間である。その男はバタバタと暗い路地に驅け込んで姿を消して行つた

「野郎—一杯喰わせやがつたな。」

笠田刑事は、怪しき男の後を追つたが、何處に逃げたか、姿は遂に發見しなかつた。

「怪盜だ—怪盜だ—正に怪盜だ」

刑事は、獨り言を云いながらさつきの家に引返してくると

おたねにあらざる、その家の女將の美代子さんが

「主人が出征中なんで、そこを見込まれたんですね、でも眼をさまして大聲で怒鳴つたんで何も盗まれては居りませんが、恐ろしかつたですよ」

と被害の模樣を話してくれたので、刑事に見つかつたと思つた怪盜が、被害者を裝うて今自分が入つて見つけられ、大聲あげて怒鳴られて逃げて來たその家に、泥捧に入られましたと刑事を案内して來たことが解つた。

笠田刑事は直ちに非常手配をして、夜明けまで血眼になつて捜したが怪盜の姿は何處にも無かつた。

「俺も焼きが廻つたかなあ」

笠田刑事は、自信をうしなつたらしく何時になく悄氣込んで、元氣のない顏で、怪盜にしてやられた狀況を木口探偵長に話していた。

24日より

帽子をとると顏が無い！上衣を脱ぐと胴體が無い…ズボンだけが歩いて行く

大映京都作品 透明人間現わる 監督 安達伸生

喜多川千鶴 水ノ江瀧子 小柴幹治 大美輝子 杉山剛 上田吉二郎 高原朝子 羅門光三郎 夏川大二郎 月形龍之介

【同時上映】 プレミアピクチュア第一回提供 決死的撮影 象の秘境を探る 『密林の野象狩』 監督 山本弘之 解說 關屋五十二 後援 外務省

世界館

☆開店☆ 小料理と御酒 氣輕く・氣分滿點の店 燕樂 平東賓與新道通 電（呼）744

斯界最高有名品 最新式前後縫ミシン 家庭用工業用優秀ミシン 現金又は手輕な月掛方法 店内商品陳列多御一覧 ミシン 石川ミシン商會 平市二丁目

ボクはパン食 毎日健康 平製パン

木炭より安くて永持する ミツコ特殊棒炭 配達迅速 近納信義商店 工場 平市才槌小路33 電942番

所得税の豫定申告と十月修正豫定申告の期限は十月三十一日限りです

税務署では豫定申告の提出してない納税義務者と修正申告を要する納税者に對して目下申告書提出方をお願いしており十月二十一日よりは各町村役場に係員が出張して個々に指導することになつておりますから一人も洩れなく役場へおいでになる樣希望致します。

滯納者の皆さんに

差押物件をセリ賣しても不足額があるときは更に追加と差押を行わねばなりませんから御注意下さい

平税務署